

最近の  
話題

## 大気常時監視体制の強化と大気環境測定車「あおぞらIV号」の運用開始

長野県には大気汚染状況を監視するため、県内26か所の大気常時監視測定局が設置されています(そのうち6局は長野市が管轄。1局は国設酸性雨測定局)。それぞれの測定局には自動車などから排出される窒素酸化物や、全国的に高濃度化が懸念されている光化学オキシダントなどの自動測定機が設置され24時間365日の連続観測を行っています。

長野県では、高濃度化する光化学オキシダント対策と平成21年9月に新たに環境基準が定められた微小粒子状物質の測定体制を「長野県大気常時監視システム検討委員会(平成22年度)」により検討し、高濃度光化学オキシダントの発生頻度が高い東北信地域にオキシダント測定装置を2台増設し、微小粒子状物質の測定装置を9台新設するなど監視体制の強化を進めています。

また、平成23年11月には新しい大気環境測定車「あおぞらIV号」が運用を開始しました。あおぞら号は大気汚染物質を測定する機器を搭載した車両です。長野県が大気常時監視の開始に先駆けて昭和46年に初めてあおぞら号を導入してから今回の更新で4代目になります。あおぞら号は県下各地を定期的に移動しながら1カ月程度の観測を行い、各地に設置されている固

定測定局と連携して、地域の大气汚染の状況を詳細に調査しています。

今回の更新にあたり、あおぞらIII号の導入から18年経過して老朽化した測定装置を更新し、新たに微小粒子

状物質や二酸化炭素、全天日射量の測定を開始しました。環境への影響を考慮して、低燃費・低排出ガスな車種を選択し、ソーラーパネルを搭載して電源の一部に太陽光発電を使用するなど省エネルギー化を図りました。また、従来の中型バスから小型トラックへの車体の大幅な小型軽量化により機動性が向上し、より広い地域での測定が可能となりました。

各測定局の測定データは1時間ごと電話回線やインターネット回線を使って収集し、環境基準の超過など異常がみられた場合に早急な対策がとれるようになっています。このデータ収集システムを平成23年12月に更新しました。これまで収集したデータは環境省の大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」により公開されていました。しかし、そらまめ君によるデータの公開は収集から時間がかかるため、高濃度光化学オキシダントの発生など大気汚染があった場合にいち早く皆様にお知らせして、対策をとっていただけるように、県独自の公開サイトによる情報提供を開始しました。また、これまでデータの自動収集に対応していなかったあおぞら号等についてもモバイルデータ通信端末によるデータ収集を開始しました。

今後も、大気常時監視局やあおぞら号を活用して、長野県の大気環境の保全に寄与できるよう努めてまいります。

長野県大気常時監視1時間値(速報値)公開サイト

URL: <http://www.nagano-taiki.jp/>

(町田 哲 [kanken-taiki@pref.nagano.lg.jp](mailto:kanken-taiki@pref.nagano.lg.jp))



昨年11月に運行を開始した「あおぞらIV号」



あおぞらIV号内部の様子